

## むかわ町立鶴川中央小学校

公開研究会 11月1日(金)

### 「特別の教科 道徳」における 授業づくりと評価の改善

本校では、「特別の教科 道徳」の授業づくりと評価方法について様々な先行実践をもとに研究を進めています。2年次の今年度は、前年度の研究において培った道徳科の授業づくりのベースをもとに、方向性を揃えて実践を行うことで、よりよい授業づくりを目指しています。さらに、評価の方法や内容を工夫し、取組の内容を蓄積、交流、比較することで、評価における本校のベースを確立し、本校の道徳科学習におけるスタンダードの構築を目指しています。また、今年度は特別支援学級における道徳科の実践についても検証し、実践を記録しています。



4年道徳科  
掲示物を利用した既習内容の振り返りの工夫をしているところ



特別支援言語学級道徳科  
交流授業で個別指導をしているところ

## 厚真町立厚南中学校

公開研究会 11月1日(金)

### 考えを伝え、主体的に学ぶ生徒の育成 ～対話的な学びの場を工夫した問題解決的な学習～

本校は、各教科を研究領域とし、平成29年度からの3年計画で、研究を進めています。昨年度は、「対話的な学びの工夫」に視点を当て、授業交流を行い、深い学びにつながる「対話的な学び」を工夫するとともに、単元を見通した「対話的な学び」の効果的な設定について研究を重ねました。今年度は11月1日に公開研究会を開催します。たくさんのご意見を賜りさらに研究を深めていきたいと考えています。



2年音楽科  
鑑賞をし、曲の特徴についてまとめた意見を記入しているところ



3年技術科  
プログラム作成について交流しているところ



# 令和元年度 三二道研 兼 胆振教育研究所 夏季研修講座

8月8日、北海道教育庁胆振教育局において、胆振会場とオホーツク会場を中継でつなぎ、2会場合同で「授業づくり・学級経営」と「道徳教育」をテーマに三二道研との共催で研修講座を実施いたしました。胆振管内から18名の先生方の参加をいただきました。

研修講座の様子は、胆振教育研究所のホームページ上で紹介しておりますのでご覧ください。(http://www.iburi-education.jp)

## 〈講座〉

胆振とオホーツクの会場をビデオ会議システムでつなぎ、それぞれの実践発表をもとに研修が行われました。

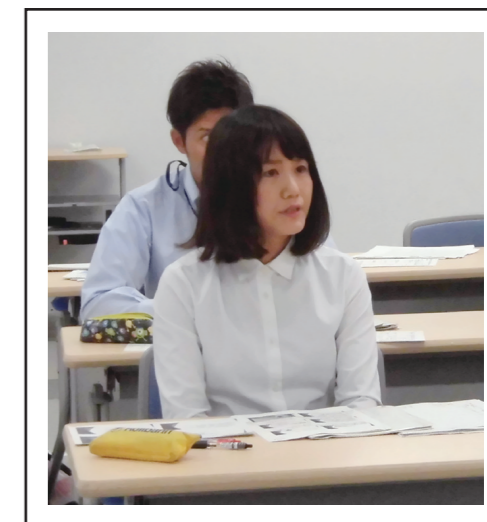


## 〈午後の講座「道徳教育」〉

道徳科の授業づくりにおいては、道徳科のねらい(道徳的価値)を踏まえ、授業で児童生徒に、何を考えさせ、気付かせたいのかを明確にし、「価値観」「児童生徒観」「教材観」の3つの視点から授業を構築することの大切さについて考えました。

## 〈参加者の声〉

各学校で抱えている生徒指導の問題について、交流できたことがよかったです。自分の立場で何ができるのか、チームとして何ができるのかを改めて考えることができました。子どもを多面的に見ること、肯定的にとらえることが大切で、明日からの実践に役立てていきたいと思いました。



## 〈午前の講座「授業づくり・学級経営」〉

実践発表の事例から、集団づくりと児童生徒とのコミュニケーションの取り方について、グループで交流し、集団づくりにおいては、「支え合い、励まし合うことのできる支持的な風土をつくること」の大切さについて話し合われました。



## 〈参加者の声〉

他会場の若い先生方の実践を聞き、トークセッションを行うことで、生徒としてのとらえ方、また教師としての関わり方の2つの側面を学ばせていただきました。視点を変えることで、自分の見えていない子どもの良さが見えてきます。コミュニケーションを大切に良い学校環境をつくっていききたいと思いました。



## 〈参加者の声〉

事例をもとにどのように「道徳的価値の理解を高める発問」をつくっていくとよいか、また、児童生徒にどのように新たな気づきを得られる活動にすればよいか分かりやすかったです。道徳的価値の理解を深めるために、発問の工夫をすることの大切さを再認識しました。

## 〈参加者の声〉

事例が具体的で分かりやすく、学校でも活用できるものでした。ワークシートの「やってみよう」でも、「視覚優位」と「聴覚優位」の人がいて、子どもをどう見ていくかという視点で参考になりました。指導言のお話でも、子どもたちに分かる授業をするために何ができるのかを考えていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。



# 安平町立早来中学校

公開研究会 11月8日(金)

本校では、研究主題を「自他との関わりを大切にし、よりよい人間関係を築く生徒の育成」として、特別の教科 道徳の指導の改善・充実をテーマに校内研究を進めてきました。今年度は計画の3年次となり11月8日(金)には公開研究会を予定しています。1・2年次の研究を踏まえつつ、教科書を使った授業の工夫、ICTを効果的に活用する方法、短期的・長期的な評価方法の工夫に焦点をあて、生徒だけではなく、授業者も積極的に自己評価・相互評価をしながら授業改善を目指し、先生方全員で研修に取り組んでいます。

自他との関わりを大切にし、  
よりよい人間関係を築く生徒の育成  
～「特別の教科 道徳」の指導の改善・充実～



3年道徳科  
電子黒板やタブレットを活用し  
意見を集約しているところ



3年道徳科  
身近な例を挙げて興味関心を  
もたせ、思考させているところ

# 伊達市立伊達西小学校

公開研究会 11月14日(木)

本校では、平成29年度より研究主題を「主体的に学び、思いや考えを伝え合う児童の育成」と設定して国語科の「読む」領域に重点を置いて研究を進めてきました。また、特別支援学級では自立活動を中心に据えて授業研究を行ってきました。今年度は、研究のまとめの年としてこれまで取り組んできた「言語活動の工夫」「伝え合う場面の工夫」「振り返る場面の工夫」を取り入れた授業を通して主体的に学び、思いや考えを伝え合う児童の育成を目指して研究を進めています。

主体的に学び、思いや考えを伝え合う児童の育成  
～『主体的・対話的で深い学び』を意識した  
国語科の授業づくりを通して～



4年国語科  
「きょうみをもったところを発表し  
よう」考えたことを3～4名のグル  
ープで発表し合っているところ



5年国語科  
「広がる、つながる、わたしたちの  
読書」互いのPOPを読み合っ  
ているところ

# 伊達市立関内小学校

公開研究会 11月14日(木)

本校の研究主題は、「自分の思いを表現し、認め合い、学び合う児童を目指して～小規模校の特色を生かした「深い学び」の構築～」です。小規模校(全校児童33名)の特色である、全員が授業に参加しやすく、お互いを分かり合っているということを生かしながら、特別の教科道徳を通して研修を進めています。自分の思いを表現し、認め合い、学び合うことで、多様な考えに触れ、深い学びを構築し、よりよい方向を目指す資質や能力(道徳的実践力)を備える児童の育成に取り組んでいます。

自分の思いを表現し、認め合い、  
学び合う児童を目指して  
～小規模校の特色を生かした「深い学び」の構築～



特色ある教育活動  
「トウモロコシ栽培活動」をして  
いるところ



特色ある教育活動  
「全校英語」で交流学習をして  
いるところ